

## 国内

### 国内データセンターサービス市場予測を発表

2014年の市場規模は、前年比成長率8.2%、9,682億円と予測

2013年～2018年の年間平均成長率は6.6%、2018年市場規模は1兆2,315億円と予測

- IDC Japan は、国内データセンターサービス（顧客企業の情報システムを情報サービス事業者のデータセンターで監視・運用するサービス）市場の最新予測を発表した。IDC は、事業コストの上昇と、市場競争の激化により、サービスの差別化と価格競争が生き残りのカギになると予測している。

IDCによると、2014年の国内データセンター（以下、DC）サービス市場は前年比8.2%増の9,682億円となる見込みで、2013年～2018年の年間平均成長率は6.6%で順調に成長すると予測している。これらは、自社サーバールームから事業者DCへシステム移設する事例や、既存DCから耐震性能の高いDCへのマイグレーション事例が増えていることが要因となっている。また、オンラインゲーム、映像配信、SNS、ネット通販などのいわゆる「ネットビジネス」の市場成長にあわせて、サーバ能力が増強されていることも、データセンターサービス市場の拡大に寄与している。

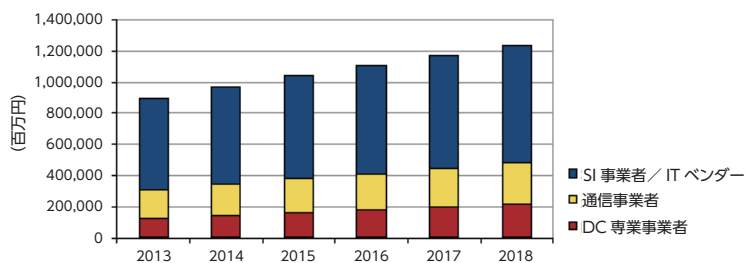
データセンターサービスには、サーバ設置スペースを顧客に貸し出す「コ

ロケーション」と、データセンター事業者が所有するサーバを顧客に貸し出す「ホスティング」の2種類がある。このうち成長率が高いのはホスティングのほうで、ホスティングには、近年急速に利用が拡大しているクラウドサービスの一部が含まれており、市場拡大を加速させる要因となっている。これまでWebアプリケーションなどのサーバやシステム開発環境として使われることが多かったクラウドサービスだが、企業の業務システムのサーバとして利用される事例が次第に増えている。

2014年の国内市場のうち、SI事業者／ITベンダーのシェアが64.7%、通信事業者のシェアが20.8%、DC専門事業者のシェアが

14.5%となっている。このうち2014年に売上拡大が最も顕著なのは、クラウドIaaSビジネスの急成長が特に著しいDC専門事業者で、2014年の前年比成長率は13.7%になるとIDCは予測している。

2012年から2013年にかけて国内で大規模なDC新設／増設が相次いだため、DCサービス市場では競争が激化している。急激な値崩れを起こすには至っていないが、サービス価格や設備仕様／サービス品質に関する顧客企業の要求は厳しくなる傾向にある。同時に建設コストの上昇や電気料金の上昇により、DCの設備投資や運用コストの金額が膨らんでいる。「競争激化と事業コスト上昇によって、DC事業者はこれまで以上にサービス差別化と価格競争力強化が求められる」とIDC Japan ITサービスリサーチマネージャーの伊藤未明氏は分析している。



Note:2013年は実績値、2014年以降は予測 Source:IDC Japan, 10/2014

国内データセンターサービス市場 事業者種類別 売上額予測：2013年～2018年

#### ● お問い合わせ先 ●

IDC Japan (株) セールス

TEL : 03-3556-4761

E-mail : jp-sales@idcjapan.co.jp

URL : <http://www.idcjapan.co.jp/>